

第31回さかいふるさと祭り

1万5千発

大花火大会

(株)山崎煙火製造所

×

野村花火工業(株)

茨城が誇る二大花火師による
「夢の競演」

2016

8

No.595

茨城県筑前町



広報さかい

fireworks
7月30日

1万5千発!! 大花火大会

2大花火師による夢の競演

野村花火工業(株)

×

(株)山崎煙火製造所

昨年に比べ来場者数大幅増加 !!

(平成 27 年度)

4万5千人



(平成 28 年度)

15万人

「花火大会を見に子どもが帰ってきた」など喜びの声多数!!
7月30日(土)、利根川河川敷において、3日間にわたって開催された「さかいふるさと祭り」のフィナーレとして、茨城が誇る2大花火師「野村花火工業(株)」と「(株)山崎煙火製造所」の夢の競演による大花火大会が開催されました。
境側の河川敷で(株)山崎煙火製造所、野田側で野村花火工業(株)がそれぞれ打ち上げを行い、尺玉30連発や、音楽に乗せた壮大なスターマインなど昨年よりも5千発多い、1万5千発の花火が夜空を彩り、集まった15万人の観客を魅了しました。
客席からは「こんな花火見たことない」、「感動した」、「来年も必ず来たい」などの感想が聞こえてきました。
また、「境の花火大会を見るために、埼玉から子どもが帰省してきた」などの喜びの声も多数聞かれました。



Rafting
7月17日

いかだレース大会



利根川を舞台に熱戦が繰り広げられました

53チームが自作いかだで参加

7月17日（日）、利根川を舞台に開催された「いかだレース大会」を皮切りに、31回目となる「さかいふるさと祭り」がスタートしました。
昨年16年ぶりに開催され、復活した「いかだレース」には、今年は、53チームが参加し、古河市の栗橋4号国道下から境大橋手前までの利根川上の約10kmのコースで、手作りのいかだのスピードやアイデアを競いました。
スピード部門では、1時間5分52秒で、神和会1号艇が見事2連覇を果たしました。また、アイデア部門では、お囃子の演奏と踊りが評価され、前山囃子丸（坂東市）が第1位に輝きました。
ゴール地点のイベント広場では、アユのつかみ取りやウォーターバルーン、早食い選手権等のイベントが行われ、レース参加者や観客で賑わいました。



前橋市から参加の「境×前橋 友好記念号」



スピード部門 2位の「しみず1号」



イベント広場で人気を集めた「ウォーターバルーン」



アイデア部門 2位の「自由なサカイタチ」

【いかだレース大会結果】

《アイデア部門》

順位	いかだ名	住所	得点
1	前山囃子丸	坂東市	108
2	自由なサカイタチ	境 町	104
3	ズートピア	五霞町	103
3	境警察署水上交番	境 町	103
町長特別賞	境トリニタス号	境 町	94

《スピード部門》

順位	いかだ名	住所	タイム
1	神和会1号艇	境 町	1:05:52
2	しみず1号	境 町	1:09:06
3	チーム光山	境 町	1:18:34
境町議会賞	境×前橋 友好記念号	前橋市	2:10:56

スピード部門 第1位 【神和会1号艇】

大会2連覇!!



「今回の結果はこぎ手の力だけでなく、神和会全体で頑張ったものです。来年も3連覇を目指し頑張ります!!」

アイデア部門 第1位 【前山囃子丸】



「元気に楽しくできたので良かったです。来年も盛り上げに来ます!!」



今年で3年目となるサンバパレード 浴衣姿で祭りに来た子供たち 境青年会議所による山車の巡行 観客と一緒にサンバを楽しみました



Mikoshi
7月23日

歩行者天国。

夕暮れとともに担ぎ手の熱気も最高潮に達しました



友達と一緒に祭りを楽しみました



町内小中学生による鼓笛パレード（猿島小）



五ツ輪会の踊りパレード

神輿で祭りも最高潮に
7月23日（土）午後5時、歩行者天国の開始と同時に小中学生によるブラスバンドパレードで、この日の祭りは幕を開けました。練習の成果を見事に発揮した児童・生徒が続いて、五ツ輪会による踊りパレードが祭りに花を添え、毎年恒例となった浅草のサンバチーム「フェスタサンサ」によるサンバパレードが通りを盛り上げました。
また、今年は境青年会議所による山車も登場し、その迫力に観客からは歓声があがりました。
そして、歩行者天国の醍醐味でもある「境香取神社神輿渡御」は、夕暮れと共に担ぎ手にも力が入り、会場はこの日1番の熱気と興奮に包まれました。



境町観光親善大使「ませひろこ」さんによるジャズライブ



エアロビを披露する子どもたち



出店で遊ぶ子どもたち



特別座談会 「18歳選挙権について」

橋本町長 × 筑波大学生 × 筑波大准教授

若者は、選挙権年齢の引き下げや政治に関して、どのような意見を持っているのか。また、政治や選挙にどのように関わっていけばよいのか。橋本町長と、3人の筑波大学の学生、さらに中高生の主権者教育に詳しい唐木清志准教授を交えて、座談会を行いました。



境町長
橋本 正裕

政治を身近にとらえる ①18歳選挙の是非

遠藤 私は賛成。18歳と20歳では選挙の知識に大きな差はなく、選挙に参加しても問題ないと思う。引き下げは中高の教員の教育現場での意識を変えていくと期待している。

佐藤 18歳はインターネットの意見に左右されることが多く反対だ。

竹森 選挙が社会的に注目されることで、国民の政治への意識が高まると思う。その面では賛成だ。

橋本町長 18歳選挙は世界的には珍しくなくなっている。特にスウェーデンでは18歳から29歳までの投票率が約8割となっており、若者の意見が政治に強く反映される。若者には社会を変える力があるということを、マスコミや政府は伝えるべきではないか。若者の選挙が「面倒くさい」という意識を変えるのが大人の役目だ。若者が大人に意見を伝え、大人がそれに応えることが大切では。

が大切では。

唐木准教授 国連が定める子どもの権利条約では、18歳が子どもと大人の分かれ目。参政権は「権利」だ。義務的に「行くべき」と考えることは、根本的な意識の改革にならない。権利の認識を定着させることも必要だろう。

佐藤 もちろん参政権は権利であって義務ではないが、なかば義務にするような風潮があると感じる。

遠藤 「国民として投票するべきだ」という義務感の植えつけや、「若者は政治意識が低い」とする社会の風潮があるように思う。

唐木准教授 義務として選挙をとらえれば、逆に荷が重く、投票しにくいと感じるのか？

佐藤 行かなくては、という思いと、知識が不十分のまま投票していいのか、という2つの思いがある。今回の参院選でも、義務感が先行し、実際に政治に参加している実感が少ない。



筑波大学人間系准教授
唐木 清志氏

国7カ国の中で一番少ない。自分たちも社会を変えられるという実感を、経験から理解することが必要だろう。

今の主権者教育はあくまで選挙に焦点を当てたもので、もっと「足腰」からの教育を図るべきだ。

④若者と政治

竹森 投票だけでなく、自分たちで問題点や改善案を行政に提案するなど、積極的に政治と関わって行ければよいと思う。

佐藤 現在の生活に不満がなく、問題点は見つからない。その状況で政治に参加しても、責任が持てるかが不安だ。

唐木准教授 政治の参加にもさまざまな形がある。買い物などで税金を払っている時点で、政治に関わっている。その税金の使われ方を考えることが、一番身近な政治参加ではないか。

橋本町長 町長の立場としては、若者たちが身近な社会のことを自ら考える機会を設けていきたい。

(出典：筑波大学新聞 第329号
7面より転載)



筑波大学社会学類4年
竹森 友香さん

②政治や投票のとらえ方

唐木准教授 政治は議会や選挙などの大規模なものだけではない。例えば家族会議で予定を決めたり、学校の教室で席替えをどのようにして行うかを考えることなども広い意味では政治の一つで、つまりはルールを決めるための「話し合い」が組織を動かすかどうか。政治を日ごろから身近にとらえることが、政治を考える上で大切だ。

遠藤 最初は政治と言ったら学校の授業で習うような遠いものをイメージしていたが、中高生が部活動の運営を話し合っていることも政治と考えると、政治を身近に感じられる気がする。

唐木准教授 政治を広い意味でとらえてほしい。政治への参加といえば即ち選挙ではない。政治と選挙を切り離して考えるとわからなくなってしまうため、どれだけ政治を自分のこととして感じられるかが重要だ。

竹森 身近な「話し合い」も政治だと



筑波大学人文学類2年
遠藤 菜央さん

③主権者教育

佐藤 公立高校に通っていたが、公民の授業で政治の知識を得たのみで、主権者教育として思い出せる経験はない。

選挙のためだけに動くのではなく、住民と「話し合い」、批判を恐れずに行政を動かす、若者の意見を積極的に取り入れたい。

政治家とその地域に住む人々との距離感は政治家のこれからの課題だ。意見を言えば政治が変わると地域の人々に思ってもらいたい。

「足腰」からの主権者教育を



筑波大学物理学類1年
佐藤 巧基さん

遠藤 高校の「現代社会」の授業で、社会にどんな問題があるのかというテーマで実際に町を歩き、気付いた問題点について議論し合う授業があった。

竹森 高校時代は政治や選挙の仕組みを知識として学んだ。大学で主権者教育の授業案を作る機会があったが、主権者教育は指導法が確立している訳ではないので、主権者教育の実践はとても難しいと感じた。

唐木准教授 先ほどの境町の小学5年生のように、この町や社会は自分の力で少しずつ変えられる、と教えることが主権者教育だと考えている。

最近選挙権年齢引き下げがあり、主権者教育がよく議論されるが、そのほとんどが「有権者教育」の議論になっている。有権者教育は選挙に焦点を絞り、模擬投票などを行う教育を指すが、本来、主権者教育は選挙に限らず、社会のどんな問題をどう解決するか理解する教育だ。

今、日本では、「自分たちが政治を動かしている」実感を持つ若者が先進



【司会】筑波大学人文学類2年
佐々木 悠里さん

道の駅のトイレが 明るく綺麗になりました



町の持ち出しは0円で改修!!



新たに
ベビーシートも設置



ウォシュレット
機能付き!

【改修工事概要】

全額県が負担

事業主体：境工事事務所
事業費：約 2,300 万円

主な工事：

- ・洋式トイレの設置
女子トイレ・・・6基
男子トイレ・・・3基
- ・ベビーシートの設置
- ・扉や天井などの内装の改修
- ・室内灯の LED 化

利用者の要望が実現
経年劣化による老朽化のため、利用者から改修の要望が多かった道の駅さかいのトイレですが、町が県に要望活動を行い、境工事事務所による改修工事が行われました。
今回の改修工事により、和式だったトイレがウォシュレット付き洋式トイレに変わり、以前より快適に使用できるようになりました。また、内装の改修や照明のLED化等が行われ、トイレ全体が明るく綺麗に生まれ変わりました。
そのほか、新たにベビーシートも設置され、子連れの方にも優しいトイレになりました。
生まれ変わった道の駅のトイレを住民の皆さんも是非ご利用ください。

法務省視察研修

境町人権擁護委員・猿島地区保護司会境支部・猿島地区更生保護女性会境支部 合同



▲法務省の前で田所法務大臣政務官（写真前列中央）を囲んでの集合写真

3団体合同での視察研修

7月13日、境町人権擁護委員及び、猿島地区保護司会、猿島地区更生保護女性会両境支部所属の方々が、合同で法務省の視察研修を行いました。
この研修は、各団体の管轄である法務省を訪れ、見識を深めてもらうために企画されたもので、田所法務大臣政務官（視察当時）のご協力のもと行われました。

研修では、田所法務大臣政務官を表敬訪問し、法務省について説明を受けた後、キャピック（刑務所作業品販売店）や資料展示室を見学し、その後、国会参観、議員会館の見学などが行われ、非常に実り多いものとなりました。

参加者感想



前人権擁護委員
植竹 里子さん

この度の法務省視察研修には多大なるご配慮をいただきまして、誠にありがとうございます。
決して個人では経験できる見学ではなく、皆様方と一緒にこの現実を共有出来たことにただただ感謝の念でいっぱいです。



▲委員会室の視察の様子



▲法務資料展示室も田所法務大臣政務官が自ら案内



▲田所法務大臣政務官より法務省について説明を受けました

7/16

祝 !!100 歳 黒岩フクさん

ファミリー境にて、黒岩フクさんの 100 歳を祝う会が開かれました。黒岩さんのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



100 歳を迎えた黒岩さん（写真中央）

スポーツ

7/14

小河原彩花さんが女子サッカーで全国大会出場



全国大会出場の報告に訪れた小河原さん（写真右から 2 番目）

小河原彩花さん（境二中）が所属するチーム「白岡 SCL」が大阪で行われた「第 21 回全日本女子ユース (U-15) サッカー選手権大会」に関東地区代表として出場しました。惜しくも入賞はなりませんが今後も活躍を期待しています。

7/22

篠塚尚弥さんがソフトテニスで全国大会出場



全国大会出場報告に訪れた篠塚さん（写真左）

篠塚尚弥さん（陽光台在住）が平成 28 年度全国高等学校総合体育大会（インターハイ）栃木県大会において、個人及び団体で入賞し栃木県代表として全国大会に出場しました。

7/9

第6回境サマーカップ

会場 境町民体育館
参加チーム 12チーム
優勝 岩井-MBC
準優勝 釈迦MBC
第3位 翼MBC
〃 MBC長田

7/10

第89回境町バレーボール大会

会場 境町民体育館
参加チーム 男子5チーム
優勝 愛球会ミドル
準優勝 Loose
第3位 愛球会オールド

8/6・7

第18回近隣中学校新人野球大会

会場 境第一中学校グラウンド
参加チーム 16チーム
優勝 常総市立石下中学校
準優勝 境町立境第一中学校
第3位 八千代町立八千代第一中学校
〃 坂東市立岩井中学校
坂東市立東中学校（合同チーム）

7/1

第 66 回社会を明るくする運動

猿島地区保護司会境支部

猿島地区更正保護女性会境支部

7 月 1 日（金）「社会を明るくする運動」に関する総理大臣からのメッセージが、猿島地区保護司会境支部及び猿島地区更正保護女性会境支部の皆さんから橋本町長に伝達されました。

この運動は、法務省の主唱により、犯罪や非行の防止と罪を犯した人の更正についてすべての国民が理解を深め、それぞれの立場で力を合わせて犯罪や非行のない明るい社会を築こうとするもので、今回で 66 回目となり、毎年 7 月を強化月間として全国的に展開されているものです。



橋本町長と猿島地区保護司会境支部・猿島地区更正保護女性会境支部の皆さん

7/18

「境町高校生まちづくりアイデアソン」オリエンテーションを実施

境町役場にて、高校生まちづくりアイデアソンの参加者へのオリエンテーションが実施されました。

参加する高校生の皆さんに、取り組んでもらいたい境町の課題が実行委員会から提示され、その解決策を具体的なプランに落としこむ宿題に向けた、企画書の書き方や、プレゼンテーションのやり方などが伝えられました。

8 月 16、17 日に実施されたアイデアソン当日の結果については次号で報告いたします。



オリエンテーションの様子



大学生と話し合う高校生の様子



オリエンテーション参加者全員での集合写真

茨城県内初

返済免除型の奨学金を創設
～卒業後境町に 5 年住めば、返済無し～

境町では就学のために経済的支援が必要な、大学生、大学院生、短期大学生に奨学金を貸付けします。

応募資格 (いずれも満たす方)	①境町民の被扶養者で就学のために経済的支援が必要な方 ②所定の条件を満たした連帯保証人を 1 名選任できる方
選考方法	提出書類並びに小論文作成（指定した日時に役場にて作成）
募集期間	8 月 1 日（月）～随時募集※応募者多数の場合は 9 月 2 日（金）に締切り（郵送の場合、当日消印まで有効）
募集人数	5 名程度
貸付金額	年額 24 万円※卒業後に農業に関連する産業への就職を希望する方には、上記金額に 24 万円を上限に上乗せして貸付けする場合あり
利息等	貸付利息は無利息※返還が滞った場合は所定の遅延損害金を徴収
返還免除の要件	学校卒業後 6 か月以内に境町に居住し、かつ 5 年間居住を継続したときに返還が免除

◆申込方法 以下の書類を持参または郵送で提出してください。

- ・境町奨学金貸付申請書
- ・奨学生推薦調書（在学中の学校に申請の上提出してください）
- ・直近の学習成績を確認できる書類（在学中もしくは卒業した学校の成績証明書類）
- ・芸術やスポーツなどの分野において、コンクールや競技などの活動で表彰されている方は、それを確認できる書類（表彰状の写しなど）
- ・平成 27 年中の認定所得を算定するために必要な書類（募集要項別紙を参照ください）

募集要項及び申込書類は下記窓口で配布しています。

ホームページでもダウンロードできます。

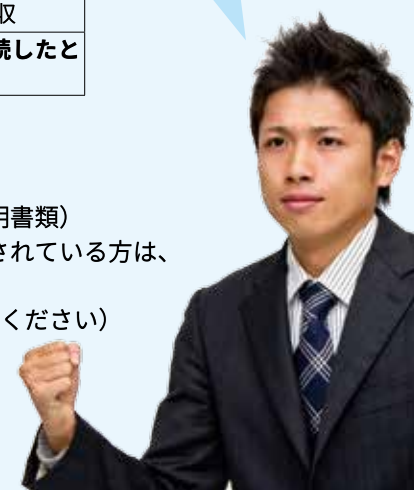
《境町ホームページ URL》 <http://www.town.sakai.ibaraki.jp/>

問合せ先

境町教育委員会 学校教育課 ☎ 0280-81-1325



詳しくは
募集要項を
ご参照ください!!



全国初！救急現場に iPad 導入



佐賀県政策部政策課
えんじょうじ ゆうすけ
円城寺 雄介氏

<略歴>

1977 年佐賀県出身。立命館大学卒業後、2001 年佐賀県庁に入庁。医務課医療企画担当時に全国初となる救急車での iPad 活用を実現。データ分析により救急医療にイノベーションを起こした。著書には、これまでの奮闘を綴った『県庁そろそろクビですか？』（小学館新書）。講演活動なども全国各地で積極的に行っている。



講師からの質問について積極的に話し合う職員の様子



円城寺さんの講演の様子

6/23

「アフター 5 勉強会」で職員にやる気と元気を！

平成 28 年度、境町では、閉庁後に職員が自主参加できる勉強会として、「アフター 5 勉強会」を全 7 回開催していきます。この勉強会はスキルアップや手法を学ぶのではなく、公務員として様々な壁にぶつかりながらも、自分事として目の前の課題に主体的に取り組み、成果をあげている講師の方々をお招きすることで、町職員が刺激を受け、日々の業務に対するモチベーションを向上させることを目的としています。

第 1 回目は、全国初の救急車への iPad の導入を実現した佐賀県政策部政策課の円城寺雄介氏を講師としてお招きし「お役所仕事で学んだ変革に必要な 3 つのこと～想いをカタチにする仕事、変革は現場から～」をテーマに講演していただきました。

当日は他市町の職員を含め 148 名が参加し、救急現場への iPad 導入に至ったきっかけや実現に向けての地道な努力、地方公務員としての考えや思いなどを聴講しました。

参加者からは、「自分自身の意識改革の必要性を感じた。」「私たちにも何かできることがあるのではないかという希望を持った。」といった声が多くあがられました。

寄付・お見舞金

6/28

境スタンプ会が町に寄付

境スタンプ会（関朗彦会長）が教育振興に役立てていただきたいと 314,330 円を寄付されました。この寄付は、はとカードの満点カード 1 枚につき 10 円を教育振興助成金として寄付するものです。



寄付に訪れたスタンプ会の皆さん

6/28

新城守さんが町に寄付

6 月 19 日、チャリティー発表会が中央公民館で行われ、チャリティーとして集まった収益金 54,000 円を教育振興に役立てていただきたいと寄付されました。



寄付に訪れた新城守さん（写真中央）

7/16

さかいふるさと祭り協力が町に寄付

さかいふるさと祭り協力会（新井孝会長）がふるさと祭りに役立てていただきたいと 250 万円を寄付されました。



寄付に訪れたさかいふるさと祭り協力の皆さん

7/20

昱株式会社茨城支店が町に寄付

昱株式会社茨城支店（服部泰幸執行役員支店長）がふるさと祭りに役立てていただきたいと 20 万円を寄付されました。



寄付に訪れた服部支店長（写真右）

7/21

五ツ輪会が町へチャリティー金を寄付

6 月 12 日、五ツ輪会（染谷勝子会長）主催の第 26 回チャリティー発表会が中央公民館で行われ、チャリティーとして集まった収益金 50,811 円を教育振興に役立てていただきたいと寄付されました。



寄付に訪れた五ツ輪会の皆さん

7/26

(株)篠原工務店が町に寄付

(株)篠原工務店（篠原純一代表取締役）がふるさと祭りに役立てていただきたいと 100 万円を寄付されました。



寄付に訪れた篠原代表取締役

<災害見舞金>

7/20

岩手県軽米町議会



橋本町長に寄付を手渡す岩手県軽米町議会の皆さん

俳句

六月十八日 境町文化協会俳句部

兼題

「五月雨・草笛・父の日」他当季雑詠

草笛の上手き悪童見直され

信子

※普段は、いたずらで腕白な少年が草笛を上手に吹いている。誰もがその意外性に注目する。そして、拍手を送る。少年が恥じ囁みながらも爽やかな笑顔を返す。人はみな、そうした隠れた才能を秘めている。

父の日や伴に九十歳の坂登る

なか

※父の日を迎えて思うことは、何十年もの歳月を共に生きてきた伴侶のことである。昨年は短期間の入院加療を要したものの幸いにも今はほぼ回復の身となった。父の日には、手を携え九十の坂を共に登って行こうと誓い合った。

父の日や連れの元気を生き甲斐に

譲一

※還暦となり、定年となり、後期高齢者となつて、改めて、老後の生き甲斐は・・・と問われた時、『連れの元氣』と言えるのは最高に幸せなことだ。高齢となつてこそ分る珠玉の名言である。

父の日や少々照れてシャツを着る

ちから

父の日や父に酒注ぐ子等の笑顔

ちよ

何いらぬ気持嬉しと父の日に

とき

父の日に子等の笑顔で湧く勇氣

登

対岸のあの娘に届け草の笛

弥生

五月雨や利根の河幅満たしたり

省三

父の日や娘やさしき父に似て

幸子

父の日や初孫抱つこの恵比須顔

光夫

草の笛鳴呼故里の山河かな

きみ代

草笛を吹く少年の息永し

正六

父の日の存在見せる肩車

仁

遠き日の草笛自慢友は今

香子

短歌

境短歌会 山鳩

水無月の葉桜の下歩みたり茂れる青さ心和みぬ

風間 リヨ子

梅雨の空輝く額のあじさいは母の影浮く里よりの花

川上 ヒサ

早朝の緑ましゆく庭先に姿見えねど木の葉ゆらぎぬ

稲田 美重子

穏やかな顔の並びし六地藏それぞれの道を人人に教える

飯田 俊子

小雨降る新緑背に寺が建つ歴史の重さうぐいす啼く

松岡 美智子

豊山派の古刹に詣でつどい寄る一服の茶にも歴史を感じず

本島 いと子

(筑波・普門寺にて)

わが友は責任感の強き人パワーを我に注いでくれる

五月女 三枝子

天狗党隊士を悼み建てらるる碑文を讀みて往時を想う

鈴木 喜与子

五月雨や筑波の峰につつまれて千年の風平沢遺跡

桜井 レイ

天狗党の謂れの残る普門寺の往時を偲び山門くぐる

斉藤 敬子

電色のデイズニパーレド孫等と見朝の散歩も軽やかになる

川村 米子

去る五月二十七日、つくば市へ吟行に行つて来ました。旧つくば道の土器の発掘された遺跡や由緒あるお寺、又筑波ハムの工場見学等歌友との親睦を兼ねて楽しい旅をして来ました。とても有意義な一日でした。まだまだ暑さがきびしいと思いますので、水分をとり乍ら体調管理に気をつけて行き度いと思います。

意外な事実▶約80%の都道府県で地元紙が県内シェアNo.1と言う事実!

犯人は 茨城新聞社です!

県内の細かなニュースはテレビ、ネットには登場しません。

なのに、残念ですが地元紙「茨城新聞」のシェアは第3位です。

犯人はアピール不足の茨城新聞社です! でも、地元の話題や県内スポーツ等、

皆さんの身近なニュースは質、量ともNo.1!

是非この機会に無料で体感してください。

茨城新聞社

お申込は
いますぐ

TEL 0120-029-218

【お電話受付時間】9:00~17:00 土日祝日を除きます

※J-READ (2014年・茨城県・各紙発行部数データ) 使用メニュー: 汎用クロス集計

無料
進呈

茨城新聞を7日間無料で
毎朝、お届け致します。

※お申し込み後、1週間以内にお届けいたします。



毒蝮
三太夫



さこ
みちよ

豪華な出演者が境町に参上!!

境町

まさかいきいき

まさかい〜ね

さかい〜の

いきいき福祉大会

対象者

65歳以上の方

満員御礼!!

※入場券が無い方は入場できませんのでご了承ください。

平成28年

9月18日(日)

9:50~15:40(開場 9:30~)

会場：中央公民館

< 9:50~ > オープニングセレモニー

- ・主催者挨拶
- ・交通安全母の会OG会によるよさこい披露

< 10:10~ > 第1部

- ・老人クラブ連合会によるPRイベント
- ・豪華景品が当たるお楽しみ抽選会



TVも当たります!!

< 13:00~ > 第2部

- ・「毒蝮三太夫とさこみちよ」のトーク&バラエティーショー
- ・「松平健と橋本町長」とのかけ合いトーク&歌謡ショー



スペシャル/
ゲスト/
松平 健

主 催 境町／境町社会福祉協議会／境町老人クラブ連合会
問合せ 境町社会福祉協議会 電話 87-2525

町の人口と世帯数 ※平成28年8月1日現在の常住人口(前月比)

■総人口 24,482 人(+23) ■男性 12,258 人(+32) ■女性 12,224 人(-9) ■世帯数 8,336 世帯(+33)

■発行所／境町役場 〒306-0495 茨城県猿島郡境町391-1 Tel.0280-81-1329 ■編集／秘書広聴課 ■発行日／平成28年8月15日
■境町ホームページ <http://www.town.sakai.ibaraki.jp/>